

2・23

34th

サタデープログラムニュース

講座番号31番 第3部(14:00~15:30)

「半分、青い。」のプロデューサーが語る、
朝ドラで伝えたいこと！

講師 松園武大さん (NHK

プロ
デュ
ーサ
ー)



2001年にNHKにディレクターとして入局。地域情報番組や「のど自慢」などの娯楽番組、ドキュメンタリー、ニュースの短い企画など様々なジャンルの番組制作を経験。スペシャルドラマ「坂の上の雲」、連続テレビ小説「つばさ」、「おひさま」、大河ドラマ「龍馬伝」などにディレクターとして関わった。その後、東京のドラマ番組部に戻り、昨年、連続テレビ小説「半分、青い。」に初めてプロデューサーとして関わった。

NHK って特殊？

NHKは他の民放のテレビ局と違い色々特殊なのです。例えば公共放送なので企業スポンサーがいません。なぜなら視聴者のみなさんから直接いただいている受信料で成り立っています。つまり、皆様がスポンサーなのです。

ですから、民放のドラマと違い、ただ視聴率をとれるだけの番組を作ればいいわけではありません。視聴者の心に届く番組、役立つ番組を作ること。これがNHKで番組を制作するものの使命なのです。

ドラマは他のドキュメンタリー番組よりも、描きたいものをより綺麗に面白く映し出しやすくできると松園さんはおっしゃいます。

また、朝ドラに初めから最後まで関わると、2年から3年かかるそうです。ちなみに、今、2020年の朝ドラの制作が始まっています。

このように、制作者たちが人生をかけてNHKが皆様に伝えたえるために作っている15分のドラマを156本(2340分)で1本分の朝ドラをどのように作り、どんな想いをのせて皆様に届けているのかななどをより詳しく語っていただきます。

「失敗って、楽しい。今日とは違う明日が、きっと見つかるから」

「半分、青い」は、2018年上半期に放送された朝ドラです。そして、近年珍しくなったオリジナルドラマです。ちなみに現在放送中の「まんぷく」は実在した人物をモデルにしたドラマです。

「失敗って、楽しい。今日とは違う明日が、きっと見つかるから」は制作者の思いを届けるためにプロデューサー陣が考えた番組のキャッチコピーです。

そして、このドラマは今までの朝ドラとも違うんです。今までの朝ドラは「清く正しく美しい」ヒロインを描いてきたのですが、今回の朝ドラは恐らく、朝ドラ史上最も「やってまった！」なヒロインを描いたのです。

つまり、「清く正しく美しく」じゃなくてもいいじゃないか。人間誰しも間違えることはある。「やってまった」も含めて人生なんじゃないかと。それを誰も否定することもできないし、それに苦しみ続けることもない。そんな思いを込めたそうです。

律くんが受験するはずの海東高校は東海高校だったのか？

ドラマに出てきた律くん名古屋の私立海東高校は本当に東海高校だったのか？この答えは当日聞きにきてお確かめください。

文責中学3年J組米田 3年I組栗原大雅